

課程	博士課程後期課程	コース	研究者養成コース
科目	日本語（外国人留学生）	問題	問題1

出題の意図	既存の多様な経営理論について、著者の実務・実践経験と照合させながら再解釈した内容の文献をもとに、日本語の読解力・表現力・語彙力を問う。
-------	---------------------------------------------------------------------

解答例（解答のポイント）		
設問1	① 思想	② 階層
	③ あんもく	④ ほうかい
	⑤ りゅうせい	⑥ 受容
	⑦ ゆいいつ	⑧ 貢献
	⑨ 適応	⑩ とうた
設問2	(A) 利害関係者	(B) 存在意義
	(C) 契約関係	(D) 人的流動性
設問3	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用者と被雇用者との間にみられる多様なパワーバランスが、一方に偏ることなく保たれていることが、本来的な雇用関係の姿である。 ・雇用者も被雇用者も、当事者意識をもって上記のパワーバランスの維持を図る努力を重ね続けることが求められる。 	
設問4	<ul style="list-style-type: none"> ・「人生100年時代」における働き方改革への議論の高まり ・労働価値観の多様化 ・キャリア志向やキャリア形成意識の高まり ・リスクリングやリカレント教育の拡大 	

設問 5	<ul style="list-style-type: none">・ 企業における人材育成の目的は、育成した人材による高次な成果の導出を通じて、自企業の持続的成長を図ることである。・ 企業の経営状態、社会貢献度、技術力や専門性の高さ、多様性の高さといった「企業の魅力」を高め得る人材の育成・開発により、所属組織への帰属意識の高揚を図り、ビジネスの持続可能性を高める。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

課 程	博士課程後期課程	コース	研究者養成コース
科 目	日本語（外国人留学生）	問 題	問題2

出題の意図	経済成長に伴う世界の民主主義や自由主義の揺らぎを題材に、日本語読解力と社会科学的視点を測るとともに、外国人留学生が批判的に文章を整理・表現する力を評価する。
-------	--------------------------------------------------------------------------------

解答例（解答のポイント）		
設問1	① 強権主義	② ならって
	③ けいもうしゆぎ	④ かいぎてき
	⑤ 模索	⑥ はけんしゆぎ
	⑦ 利他	⑧ 起業家
	⑨ 威張る	⑩ へんきょう
設問2	世界的精神文化の基盤が生まれた時代	
設問3	宗教学	
設問4	宗教的視点、利他の概念や社会的実践に基づき、世界は新たな共通の価値を模索すべきと説く。	
設問5	（タイトル例）第二の軸の時代を模索する人類社会—アジアから貢献のとき （理由）本文は、新自由主義による経済発展と民主化の関係に疑問を呈し、価値観の揺らぎのなかで従来の西欧の啓蒙主義とは異なる新しい方向性を探る必要性を説いている。宗教的視点や利他の概念、社会的起業や市民運動の例を挙げ、第二の軸の時代に向けたアジアからの価値模索を強調している。	